令和元年度冬季講習会　情報保障についてのアンケート

1. 手話通訳は必要ですか

4/4 必ず必要です　　0/4 できればあったほうが良い　　0/4 無くても良い　　0/4 要らない

2. 文字情報保障は必要ですか

3/4 必ず必要です　　1/4 できればあったほうが良い　　0/4 無くても良い　　0/4 要らない

3. 「全文通訳」「要約筆記」音声認識ツール等どの方法を希望されますか

・今回の要約筆記の方が見やすく、メモしやすかったです。

・個人的には要点以外の内容も聴きたいし、知りたいので「全文通訳」が欲しいです。（人によっては「要約筆記」が良いという方もいらっしゃるのかもしれませんが…）　また、今よりももう少し精度が上がって誰でも使いやすい状態になったら、音声認識ツールを使えば全体的に準備等にかかる負担も軽くなるのではないかと思っています。

・音声認識ツールは、現状のレベルでは誤認識が多く、修正者がいない場合は理解しにくいです。また、ソフトによっては修正文が見えにくい面があり、その点からも受講者にとって分かりにくいです。要約筆記より全文筆記の方が望ましいです。しかし、要約筆記であっても今回のようなレベルでしたら十分です。北聴研（８日）の文字情報保障より、今回の方が見やすく理解しやすかったです。

・テキスト化は大変助かった。ですが、要約筆記でも十分です。

4. 講習会での情報保障にどのようなことを望みますか

・特にありません。今回の情報保障が何よりも充実しており、大変助かりました。

・今回のオーディオロジー講習会での席の位置、手話通訳の方の座位置、要約筆記を映し出すスクリーンの位置がとても見やすく、講座の内容もはっきり分かりました。ありがとうございます。

・手話通訳、文字による情報保障の２本立ては常に準備していただきたいと思います。手話を見落としても、文字情報があればそちらで確認することができるので。文字情報は健聴の参加者にとってもプラスになっている面があると思います。文字情報が、参加者のタブレットなどに表示できれば尚良いかと思います。Wi-Fi 環境が必要になりますので、学校の体育館では難しいですが、ホテルなどで実施する際は可能かと思います。

・パソコン要約筆記は大変見やすく、ありがたいです。離れて見ることもできるので、見るときも大変見やすく助かります。UD トークは、去年より良くなりましたが、UD トークだけで講義を受けることは難しいです。皆様の配慮とご協力に心より感謝申し上げます。